

## 平成 22 年 第 3 回定例道議会報告

北海道議会議員 北 口 雄 幸

- 【所属会派】** 民主党・道民連合  
**【会派役員】** 政策審議会メンバー  
**【所属委員会】** 総合政策委員会理事、食と観光対策特別委員会委員  
**【党活動】** 民主党北海道第 6 区総支部副代表、民主党北海道第 6 区総支部士別ブロック支部代表  
**【日 程】** 平成 22 年 9 月 14 日（火）～10 月 8 日（金）25 日間

**【一般質問】** わが会派からは、代表質問に斉藤博議員（函館市）が登壇し、知事の政治姿勢、北海道の自治のすがた、経済・雇用対策、地域交通対策、教育行政のあり方等について質疑を行った。

また、一般質問には、市橋修治（後志管内）、小林郁子（札幌市中央区）、河合清秀（岩見沢市）、佐藤伸弥（網走市）、橋本豊行（釧路市）、須田靖子（札幌市手稲区）、田村龍治（胆振管内）、木村峰行（旭川市）、伊藤政信（札幌市厚別区）の 9 議員が立ち、当面する道政課題や地域課題について道の取り組みを質した。

なお、私・北口雄幸は、予算特別委員会において「地域医療の確保」、「道有財産の有効活用」について、総合政策委員会において「高齢者所在状況の確認」について質疑を行った。なお、質問と答弁の詳細は別紙のとおり。

**【主な審議経過】** 知事の任期は残すところ半年となったが、道を取り巻く環境は、ますます悪化の一途をたどる財政や経済・雇用をはじめとする課題が山積している。

特に、課題のうちでも、経営体制の再編が待たなしの HAC（北海道エアシステム）、知事自らが今年度で存廃の判断をすることでしてきた道営ホッカイドウ競馬、今年度で 5 年間の期間が終了するパワーアップ事業（持続的農業・農村づくり促進特別対策事業）は、早急な道としての方向の明示が迫られる課題であるにもかかわらず、今定例会中に知事の決断が出されたのは、ホッカイドウ競馬の存続だけだった。



また、8 月下旬の局地的大雨で上川管内の天人峡温泉周辺での道道決壊で 2 人が死亡するなどの気象災害をめぐり、道の防災対策のあり方も論議となった。道の対応の不備があったとして、最終日に知事、関係職員の処分が行われたが、道の行財政見直しが進む中で、道民の安全をどう守っていくのかという大きな課題を残した。

補正予算は、冒頭と最終日の 2 回に分けて提案された。計上額は、一般会計 307 億 1,300 万円、特別会計 1 億 1,400 万円の合計 308 億 2,700 万円。景気対策として国の予備費に対応する公共事業費 80 億円、雇用や森林整備の基金事業費 92 億円、経済対策としての道投資単独事業費 63 億円、災害復旧費 39 億円などの内容。これにより、道の 22 年度予算の規模は、一般会計 2 兆 8,526 億円、特別会計 6,586 億円の合計 3 兆 5,112 億円となった。予算について、開会冒頭先議分への質問は道下大樹（札幌市西区）議員が、最終日の追加補正分への質問は私・北口雄幸が行った。

## 【補正予算】

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
現計予算	2,821,877,000	658,519,687	3,480,396,687
3 定補正額	30,712,985	114,508	30,827,493
先議補正	10,781,729	0	10,781,729
通常補正	2,655,080	114,508	2,769,588
追加補正	17,276,176	0	17,276,176
合計	2,852,589,985	658,634,195	3,511,224,180

補正予算の主

なもの

- 3,925,000 千円 …… 先議・災害復旧費（8 月上旬分までの災害復旧予算）
- 6,300,000 千円 …… 先議・投資単独事業費（道路・河川等）
- 556,729 千円 …… 先議・衆議選挙費（5 区補選分）
- 118,799 千円 …… 通常・公共訓練費（若年者の職業能力開発と就労への移行）
- 66,493 千円 …… 通常・看護職員確保対策費（臨床実践能力向上研修支援事業）
- 217,479 千円 …… 通常・社会福祉施設整備事業費（社会福祉施設の耐震化とス<sup>ポ</sup>リンク<sup>テ</sup>ー整備）
- 1,206,630 千円 …… 通常・高齢者対策推進費（小規模特養等の設置とス<sup>ポ</sup>リンク<sup>テ</sup>ーの整備促進）
- 15,000 千円 …… 通常・社会体育振興費（2010 ワールドカップ帯広大会への補助）
- 8,049,000 千円 …… 追加・公共事業費（補助事業 5,857,000 千円、直轄負担金 2,192,000 千円）
- 800,000 千円 …… 追加・緊急雇用創出事業臨時特別対策推進費（つなぎ雇用機会の創出）
- 268,730 千円 …… 追加・森林整備加速化・林業再生事業費（高性能林業機械等の導入等）

## 【採択された決議・意見書】（◎は政審発議、○は委員会発議、●は自民会派発議・民主会派反対）

- ◎公立義務教育諸学校の教職員定数等に関する意見書
- ◎北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書
- ◎B 型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書
- ◎不在村者が所有する森林の整備に関する法整備を求める意見書
- ◎経済連携協定に基づく外国人の看護師候補者及び介護福祉士候補者への配慮を求める意見書
- ◎鉄道分野・公共交通への予算配分と政策推進を求める意見書
- ◎「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」の期限延長を求める意見書
- ◎議長の議会招集権及び地方議会議員の位置づけの明確化を求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
- E P A 交渉等に関する意見書
- 北海道農業の発展に必要な生産基盤整備に関する意見書
- 北方四島入域に関する閣議了解等の徹底を求める意見書
- 新たな経済対策を求める意見書
- 一括交付金制度に係る安定的な地方財源の確保を求める意見書
- 尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書
- 小沢一郎衆議院議員の政治資金収支報告書虚偽記入事件の全容解明と説明責任を果たすよう求める決議

※「新たな経済対策を求める意見書」以下の 4 件は、自民会派が提出したもの。民主会派は、その内容に、政権批判のみを目的とした記述が含まれたものであり、党利党略を地方議会の場に持ち込むものであるとして反対した。

**【当面する課題と会派の対応】****(1) 道議会定数について**

来年 23 年 4 月に実施される次期道議選に向けた北海道議会議員定数条例の改正が協議されてきたが、今定例会で、現行の定数 106 議席から、渡島支庁、網走支庁で各 1 議席、合計 2 議席減少し、104 議席とする条例改正が行われた。

我が会派としては、今期中に抜本の見直しが必要という観点から、次期道議選においては、議会改革により積極的に取り組む姿勢を示すためにも、自民会派から示された、渡島、網走の 2 議席減に後志支庁での 1 議席減を加えた 3 議席減を一貫して主張した。

しかし、各会派協議で一致を見なければ、全ての案が賛成少数で否決され、今後の抜本の見直しが必要といった各派合意事項の申し送りも不可能になり、106 議席の現状を維持して次期道議選に臨むことは到底、道民の理解を得ることはできないと考え、2 議席減案を容認するのもしやむを得ないとの結論に達した。

今後の課題としては、現在の定数を定める基準が、人口比だけとなっている制度を改め、自治体数や面積なども考慮に入れた定数のあり方について議論を進める必要があると考えている。

**【広報等】**

\*道政報告「ゆうこう便り」の発行 2010 年 10 月（夏号）23 号

\*ホームページの開設 2007 年 7 月開設、ブログは毎日更新中 <http://y-kitaguchi.net/>